

令和7年度第1回外部監査委員会報告書

1. 日 時 令和7年8月25日（月）14:00～14:45
2. 場 所 獨協医科大学病院 大会議室
3. 監 査 委 員 委員長 野間 重孝、委員 菊池 不佐男、委員 関根 房三、
委員 石田 和之、委員 小飼 貴彦
4. 出 席 者 病院長 麻生 好正、副院長・医療安全管理責任者 福田 宏嗣、
副院長 入澤 篤志、副院長 仁保 誠治、看護部長 小松 富恵、
薬剤部長 臼井 悟、事務部長 関口 徹、事務部次長 横山 誠、
庶務課長 手塚 節子、
安全管理者 矢内原 仁、安全管理者 河野 由江、
安全管理者 大山 康子、安全管理者 椎名 治揮、
医療安全推進センター事務長 篠原 君夫、
医療安全推進センター課長 山中 仁
【大学】
総務課長 水野 芳樹

5. 監査の目的

獨協医科大学病院における医療安全管理の実施に関する業務の実態を把握し、医療に係る安全管理の適正な実施を確保するため監査を実施しました。

6. 監査実施項目

- (1) Team STEPPS実施状況
- (2) 身体拘束率及び現状報告
- (3) M&M実施状況
- (4) 医療の質改善に向けた組織改革

7. 監査の結果

(1) Team STEPPS実施状況

今年度より始まったTeam STEPPSの概要について説明をしていただきました。チームワーク、リーダーシップ、情報認識能力、意思決定能力を効果的に向上させる目的として非常に良い取り組みであることを確認いたしました。

現在も1日3回の開催を続けており、非常に多くの職員が参加されている点も確認いたしました。事後アンケートにおいても、参加型の研修方法について9割以上の職員が良いと捉えている点を確認いたしました。次年度も更なるステップアップを目指し開催を継続していきたいとのことですので、引き続き積極的に取り組んでいただくことを期待しております。

(2) 身体拘束及び現状報告

身体拘束最小化チーム並びに身体拘束適正化委員会の発足経緯、それに伴う院内規程の整備や運用手順・現場向けのフローチャートの作成について説明をしていただき

ました。有事の際に記録がない場合は訴訟等で不利になる場合がありますので、3原則については拘束に至るまでの経緯を含め詳細な記録を残していただくようお願いいたします。併せて、身体拘束を行う際にはご家族への説明も充分にさせていただくようご留意ください。

病棟毎の身体拘束率の現状についても説明をしていただきました。全国平均の数値より低く推移している点を確認いたしました。また、身体拘束最小化チームにおいては月に1回病棟ラウンドを実施し身体拘束に関する現場の理解を深めているとのことでしたので、引き続き前向きに活動を続けてください。

(3) M&M実施状況

M&Mの実施状況について、“多職種が協力して治療にあたらないと重大な結果を招く”というテーマを基に2症例を選出した点について説明をいただきました。以前の医療事故に直結した内容を振り返るような形式を一新し、医学的な知識だけでなく情報の共有や記録等、多職種にて症例を振り返り意見を交わす前向きな会議形式になった点を評価いたします。

(4) 医療の質改善に向けた組織改革

配付資料の組織図を基に、医療の質改善と業務分掌の曖昧な部分を是正する目的で複数の部門に関わる組織改革を実施したことについて説明をいただきました。併せて、ペイシェントハラスメントや対応が難しい患者対応の案件については、別途臨床倫理コンサルテーションチームに相談する体制も備えている点についても確認いたしました。医療安全体制を推進する上でも非常に大切な取り組みであると思います。

8. その他

医療安全管理の実施に関する業務の実態について監査いたしました。特に大きな問題や指摘事項は見受けられませんでしたので、今後も適正な安全管理に努めてください。

以 上